

第5次長期総合計画（策定中）より

◆10年間のまちづくりの目標
「人もまちも豊かに育ち続ける 未来安心都市・明石」

◆目標の実現に向けて — まちづくりの展開手法

- ・ **選択、集中する**
- ・ **みんなで進める**
- ・ **地域にあるものを活用する**
- ・ **広域的な視点をもつ**

観光振興の意義・目的
 なぜ、観光振興を行なうのか

観光振興を通じ、地域の課題解決に取り組む

観光による経済的効果、住む誇りにつながる社会的・文化的効果を図り、人口減少社会における明石の発展を目指します。

基本理念
 どのような考え方で観光振興にあたるか

【I】観光まちづくりの推進

まちづくりとして観光振興を行い、観光消費額による経済的効果のほか、地域の魅力の発見・育成、まちなみや自然環境の保全、市民の愛着意識の共有、定住者の増加などの社会的・文化的効果により、明石市の活性化を目指します。（まちの在り方）

【II】市民の協働でつくる観光

行政および観光協会とともに、市民、事業者、企業、大学などが協働して、自由な発想で明石市の観光の魅力をつくりだす体制や手法をつくり、諸施策の持続と実効を促進します。（観光手法のソフト作成について）

【III】明石への深い認識で新しいゾーンの創造

鉄道・道路・航路の結節点である強みを活かして、神戸・淡路・姫路方面とつながる人の流れを明石市内に引き込む魅力を増やし、立ち寄りたくなるまちを目指し、コミュニケーション領域の拡大を目指します。
 （マーケット=コミュニケーション領域拡大）

観光振興の基本方針（修正版）

